

統計データから

新規就農者について

新規就農者は2018年で5万5,810人。就農形態別にみると、新規自営農業就農者は4万2,750人、法人などで就農する新規雇用就農者は23%の9,820人、新規参加者は7.6%の3,240人となっている。新規就農者全体では、65歳以上と44歳以下がそれぞれ約3割を占め、合わせて約6割と高齢者のリタイア就農と若手の新規就農に2分化している。

新規就農者のうち、新規自営農業就農者では、60歳以上での就農が5割強を占める。一方、新規雇用就農者では、20～39歳が5割弱を占める。

また、新規参加者では、30～39歳の就農が31.5%と最も

高く、続いて40～44歳が17.3%、20～29歳が15.7%と続いている。新規参加した部門別にみると、露地野菜作が1,060人と最も多く、次いで施設野菜作が670人、果樹作が510人、稲作420人、畑作200人、花き作120人、その他作物110人、畜産関係150人となっている。

新規就農者数の推移を2008年との対比でみてみると、全体では93%、新規自営農業就農者では86%の減少となっているが、新規雇用就農者では116%、さらに新規参加者では165%と増加している。(K.O)

表 就農形態別新規就農者数

区分	計	15～19歳	20～29	30～39	40～44	45～49	50～59	60～64	65歳以上
全体	55,810	1,020	5,340	6,450	3,330	3,160	7,390	12,290	16,840
	(%)	1.8	9.6	11.6	6.0	5.7	13.2	22.0	30.2
新規自営農業就農者	42,750	280	2,150	3,400	1,880	2,160	5,850	11,280	15,750
	(%)	0.7	5.0	8.0	4.4	5.1	13.7	26.4	36.8
新規雇用就農者	9,820	730	2,680	2,030	890	730	1,180	840	750
	(%)	7.4	27.3	20.7	9.1	7.4	12.0	8.6	7.6
新規参加者	3,240	10	510	1,020	560	260	360	180	340
	(%)	0.3	15.7	31.5	17.3	8.0	11.1	5.6	10.5

農業構造動態調査(2018年)

統計データから

酒造好適米の生産状況

日本酒の国内出荷量は、ピーク時(1973年)には170万kLを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万kLを下回る水準まで減少している。消費者の志向が量から質へと変化し、日本酒の国内出荷量全体に占める特定名称酒(吟醸酒、純米酒等)の割合が増加している。すなわち、1988年の国内生産量約113万kLのうち、特定名称酒の割合は25%であったものが、2019年には国内出荷量が約47万kLと大きく減るなかで、その割合は約35%と相対的に高まっている。

一方、日本酒の輸出量は増加傾向にあり、2019年の輸出数量は約2万5千kLと、この10年で倍増している。なお、日

本酒の全出荷量に占める輸出量の割合は約5%である。

日本酒の原料米(2018年:約23万t)のうち、一般的に流通している米のほか、酒造りのために作られた特別な米である「山田錦」、「五百万石」などの「酒造好適米」が約40%割合となっている。表に2019年産の酒造好適米の銘柄別生産量を示した。兵庫、新潟、長野、岡山、秋田の5県で約6割を占めている。また、酒造好適米の中でも、「山田錦」、「五百万石」は、全国の酒造メーカーからのニーズが多く、この2銘柄だけで酒造好適米全生産量の約6割を占めている。しかしながら、最近の日本酒出荷量の急減に伴い、酒造好適米の需要量も減少傾向にあり、供給過剰が続いている状況にある。(K.O)

表 酒造好適米の銘柄別生産量(単位:トン)

全国計	94,207(t)	シェア(%)	主な産地		
山田錦	34,493	36.6	兵庫: 20,439	岡山: 2,926	山口: 2,337
五百万石	19,059	20.2	新潟: 9,208	富山: 3,018	福井: 2,514
深山錦	6,475	6.9	長野: 3,620	秋田: 1,736	山形: 621
雄町	2,932	3.1	岡山: 2,753	広島: 140	福岡: 25
秋田酒こまち	2,553	2.7	秋田: 2,553	—	—
吟風	1,839	2.0	北海道: 1,839	—	—
ひとごこち	1,825	1.9	長野: 1,563	山梨: 190	栃木: 72
八反錦1号	1,786	1.9	広島: 1,786	—	—
出羽燦々	1,599	1.7	山形: 1,599	—	—
越淡麗	1,382	1.5	新潟: 1,382	—	—

農産物検査結果(令和2年3月31日 速報値)